

運動・食・生活習慣の形成  
60プラスプロジェクト  
2.2  
百万円

確かな学力の育成

全ての児童生徒の学習内容の確実な定着

- ①確かな学力育成プラン推進費 10.8百万円
- ②確かな学力育成加速化事業費 5.6百万円
- ③いわての地域国際化人材育成事業費 4.8百万円
- ④高等学校DX加速化推進事業費 240百万円
- ⑤いわて進学支援ネットワーク事業費 17.3百万円

学習定着度の把握①③

- ・県独自の学力調査の実施  
県学調(中2)の教科見直し(国・数⇒数・英)
- ・英検IBAを活用した英語力の把握  
早期把握へ(中2⇒中1)

組織体制の強化①②

- ・調査結果に基づく各校の課題解決に向けた検証改善サイクルの構築支援(=確かな学力育成プラン)
- ・市町村教委の学力育成施策支援

教員の授業力向上(数・英)①②

- ・質の高い授業提案を中心とした講義・研修
- ・GTEC、MEXCBT、デジタル教科書を活用した授業改善、家庭学習支援(指定校6校)
- ・岩手県学校DX・学力育成協議会(仮)の設置

県立学校の学びの充実④⑤

- ・高性能ICT機器導入による文理横断的な学びの充実
- ・大学進学対策講座の充実、「情報」の指導体制強化

実効性のある教職員の業務負担軽減策

- ①学校教育DX推進事業費 38.7百万円  
・統合型校務支援システムの順次導入(R8に完了)  
・GIGAスクール運営支援センターの機能強化
- ②スクールサポートスタッフ配置事業費 48.9百万円  
・配置校数の拡充(7校⇒45校)

【教育DX】ICT活用による多様なニーズに対応した質の高い学び

岩手県学校教育ICT推進協議会

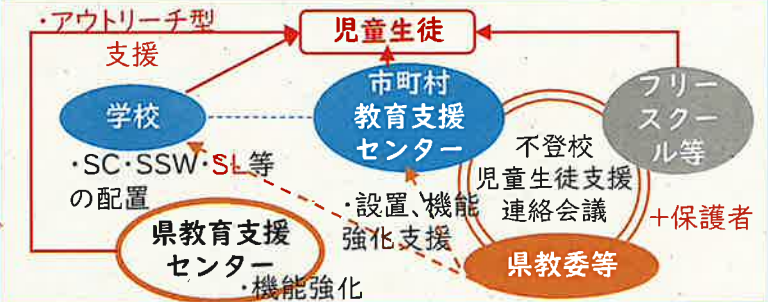
改組

誰一人取り残さない学びの確保

不登校対策の強化

- ①スクールカウンセラー等配置事業費 313.2百万円
- ②スクールソーシャルワーカー配置事業費 36.7百万円
- ③スクールロイヤー相談体制整備事業費 1.1百万円
- ④不登校等対策推進事業費補助 17.0百万円
- ⑤不登校対策強化事業費 2.9百万円
- ⑥心の健康観察システム活用推進事業費 7.6百万円
- ⑦遠隔教育による学びの機会充実事業費 8.0百万円

相談支援体制の強化①～⑤



心の健康観察の推進⑥

- ・1人1台端末の活用による児童生徒のメンタルヘルスの悪化やSOSの早期把握(モデル実施 11市町村+県立中)

県立高校における支援等の充実⑦

- ・不登校生徒等への遠隔授業の配信(R7~)に向けた調査
- ・調査書を評価の対象としない入学者選抜(チャレンジ枠(仮称))導入に向けた準備[ゼロ予算]

地域の実情に応じた取組への支援①

- ・子どもたちが参加できる各種体験活動の充実
- ・子どもの居場所づくりに対する働きかけ

教育振興運動の機運醸成②

- ・60周年を契機とした県民運動としての機運醸成

県立図書館の機能強化③④

- ・県教育支援センター分室の設置
- ・「I-ルーム」の活用促進

- ①学校・家庭・地域の連携協力推進事業費 131.8百万円
- ②教育振興運動推進費 2.2百万円
- ③不登校対策強化事業費 2.9百万円【再掲】
- ④社会教育デジタル活用推進事業費 15.3百万円

【担当】  
教育企画室 企画担当  
(019-629-6106)

新たな教育振興運動の全県展開 全県共通課題「家庭学習と体験活動の充実」